



CHARTERED SEPT. 11. 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2016 - 17 会長主題

招かれた者としてふさわしく

あずさ部長	浅羽俊一郎 (東京山手)	「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Joan Wilson (カナダ)	“ Our Future Begins Today. ” 「私たちの未来は、今日より始まる」

会長 金本伸二郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 増野 肇・飯野毅与志 / 会計 中村孝誠
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 松本竹弘

2017年 2月 山手学舎訪問例会 (TOF の月)

と き 2月21日(火) 18:30-20:30
 と ころ 山手学舎集会室
 (山手センター101号室の前に
 18:15までにお集まり下さい)

受 付 鈴木田裕子さん
 司 会 浅羽俊一郎さん

開会点鐘 会 長
 モットー・ワイズソング 一 同
 聖句朗読・祈祷 司会者
 ゲスト・ビジター紹介 会 長
 <会食・懇談・スピーチ> 一 同
 ハッピーバースデー

卒業舎生を祝う
 楽しい歌 鈴木田祐子さん
 山手Yの小窓から 松本さん
 ニコニコ 一 同
 報告・連絡事項 各担当
 閉会点鐘 会 長

当番〔3班〕鈴木田(祐)、浅羽、金本、増野

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』
 “ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

愛には偽りがあってはなりません。悪を
 憎み、善から離れず、兄弟愛をもって
 互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を
 優れた者と思いなさい。

ローマの信徒への手紙 12章9, 10節

2月 HAPPY BIRTHDAY

会費の納入は、会計(中村君)への納入または
 下記銀行口座への振込みをお願いします。
 三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」

1月報告

会員在籍数		16名
例会出席者	メ ン	10名
	メネット	1名
ゲスト・ビジター		9名
会員出席率		63%
ニコニコ	6,271円(累計 45,655円)	
B F	国内切手 —kg	外国切手—kg



1月例会 報告

1月17日(火)

山手センター 101号室 18:30-20:30

参加者: 上妻、飯島(愛)、飯野、尾内、尾内(規)、
金本、功能、鈴木田、中村、松本 10名

メネット: 金本佐紀子さん 1名

ゲスト・ビジター

寺本 彰さん(卓話者、所沢市教育委員)

吉本麗子さん(寺本さん友人)

山田泰子さん()

富永倫行さん()

福島多恵子さん(前目黒クラブメネット)

福島宣子さん

小原史奈子さん(東京たんぽぽ・会長)

服部節子さん()

佐藤大介さん(山手学舎舎生) 9名

合計 20名

司会: 中村さん

この夜は「福島除染活動に従事して」と題して寺本さんからお話を伺った。寺本さんは2012年7月から南相馬市における除染活動に従事しておられる方で、その現場で直接体験されたことについて、ご自分で撮られた写真による資料「南相馬市 除染作業の5年間」を配布されて、お話しくださった。

2012年の危険家屋解体現場の写真には、2時46分を指して止まった壁掛け時計が写っていた。

2011年3月11日の東日本大震災の発生時刻を示

していた。

除染作業は放射性物質で汚染された土地の表土をはぎ取って新しい土や砂利に入れ替える作業や除草で、それらは住民が生活している中での作業であり、ルールを守りつつ作業をやり遂げることが求められているという。現場によってはハチ防護具を着用して作業することもあったそうである。

市の指示による災害対策工事が実施されて、その後に住民からのクレーム(改善要望)がでると、その手直し工事、追加工事が行われる場合があるそうである。

その作業を請け負う下請け会社は1次下請けから4次下請けまでであるとのことである。また、作業中の事故で119番救急搬送をすると、すぐに労働基準監督署から確認の電話が来るそうである。

除染物を入れた大きな黒い袋が大量におかれた場所の映像や写真をテレビ、新聞等で見ることがあるが、あの黒い袋(黒フレコン袋)の値段が1袋12,400円と聞いてびっくりした。

もうすぐ東日本大震災から6周年になるが、ネットで調べると、除染作業員の募集がまだ続いている。福島から首都圏に避難してきたことに対する学校でのいじめが、マスコミで報じられている。また、壊れた原発の内部の状況に至ってはまだ調べることもできていない。福島を改めて考えるよい機会を与えていただいた例会であった。

たんぽぽクラブの小原さん、服部さんから2月18日に開くlibyチャリティコンサートのPRとチケットの販売も行われた。(まとめ・功能)

1月ヨルダン会 報告

日時：1月25日（水） 19：00～20：30

出席：尾内、金本、中村、松本主事

報告・議事

- 2月例会：2月21日
・「山手学舎」舎生との交歓会
・会場：山手学舎（学舎生6人参加予定）
・スピーチを舎生に依頼する（石巻報告など）
・卒業生 1名、記念品は中村さんが準備。
- 3月例会（3月21日）
・卓話者 松本主事
・テーマ「私がかかわった福島」
- 4月例会 予定
・卓話者 金子 磨矢子さん（飯野さん推薦）
NECCO カップェ 主催者
「発達障害施設と地域の関わり（仮題）」
（打ち合わせの上、正式に依頼）
- 次期会長について
・金本会長が選任交渉に当たる。
なお、次期クラブ会長・部役員研修会は
3月4～5日 於：東山荘
- 部役員の役割、交通費のことなど
次のような意見がでた。
・多様な意見があると思われるが、部から3
役に交通費等の支援を。
・部長公式訪問に3役が揃って出る必要はあるのか。
- あずさ部第2回評議会
2月11日（土）午後1：30～4：30
山手センターで開催、
ホスト：東京サンライズクラブ
出席予定者：浅羽、金本、飯島、尾内、
尾内（規）、功能、中村、増野
報告記事は増野さんに依頼する。
- 東西日本区交流会
2月4・5日、東山荘
出席：浅羽、尾内、尾内（規）、
- 第27回アジア太平洋地域大会
7月21～23日、タイで実施予定。

（金本）



YMCAニュース

▼第27回東京YMCAチャリティーゴルフ大会
大会の収益金は、子どもたちの様々な生き方の支援を中心に以下の目的に用いられます。

- 障がい児プログラム支援
- 経済的に支援の必要なご家庭の子どもプログラム参加支援（フレンドシップファンド）
- 不登校子ども支援（オープンスペース liby）

趣旨にご賛同頂き、ぜひお仲間をお誘い合わせの上ご参加ください。グループでのご参加の他、お一人のお申し込みも歓迎です。大会実行委員長は我が山手クラブ中村孝誠さんです。

日程：2017年4月13日（木）

会場：レイクウッド総成カントリークラブ（千葉県成田市）

問合せ：東京YMCA会員部（TEL：03-3615-5568）

*申し込み締め切り3月4日（土）

▼第700回 午餐会

東京YMCA午餐会は2月の午餐会で第700回となります。今回は、アメリカ大統領選挙を振り返ります。アメリカ大統領選挙は、イギリスのEU離脱とともに、世界の人々を驚かせました。しかし、アメリカには伝統的に反知性主義のうねりがあり、政治と社会を大きく変容させる原動力をともなってきました。その歴史をたどり直し、あわせて今後の民主主義の行方を模索します。

【とき】2月20日（月）12:00～13:30

【卓話者】森本あんり氏（国際基督教大学教授・学務副学長）

【テーマ】アメリカ大統領選挙を振り返って
—反知性主義と民主主義の行方—

【ところ】東京大学YMCA（東大前駅徒歩0分）

【参加費】3,000円（食事つき）・1,500円（食事なし）

【申込み】東京YMCA賛助会事務局

TEL：03-3615-5562 2月20日迄

▼高田馬場駅前 街頭募金活動のご案内

東日本大震災から6年、熊本地震から10カ月が経とうとしています。まだ、元の生活に戻れない人たちが大勢います。少しでも私たちが被災された人に寄り添い、支援に携わっていただければと願い、街頭支援募金活動を実施します。

【とき】3月11日（土） 11：00～15：00

5分でもOKです。ご協力をお願い致します。

【場所】高田馬場駅前

【問合せ】東京YMCA山手センター

TEL：03-3202-0321

（松本竹弘）

おたより

＜上妻英夫さん＞ 「初詣で急に妻をば和服に替え」前日まで行かない（疲れて）と言っていたのが孫達も来て皆行く支度見て急に着替えした。

＜飯島愛子さん＞ 1月4日、主人が退院してほっとしているところです。

＜飯野毅与志さん＞ 山手ワイズメンズクラブの充実の年になるよう祈っています。

＜鈴木田通夫さん・祐子さん＞ トランプさんの影響で何か人も国も内向きになりそう。ということはボランティア精神が低下するのではないかと憂う次第。

＜増野 肇さん＞ 夜の外出はしばらく控えています。在京ワイズ新年会は参加できました。

＜松本竹広さん＞ 今年は子どもの貧困についてもっと勉強したいと思います。YMCAに何が出来るのか、考えて行く年にしたいです。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 ＜編集後記に替えて＞

○今年は東京YMCA山手センター設立65周年を迎える。東京YMCAは地域活動の拠点として1950年12月に江東ブランチを開館したのに続いて1952年9月に山手ブランチを開館した。

○記念誌「東京山手YMCA40周年 1952-1992 40th Anniversary」によると、1952年4月8日に新宿区諏訪町40番地の土地231坪、家屋40坪を210万円で購入したとある。

○ブランチ委員長は富士電炉工業(現 オリジン電気)社長で東京YMCA理事であった後藤安太郎さんであった。会社は神田川の面影橋のそばにあり、その社長室でブランチ委員会を開催し、建物増築計画や寄宿舍新設計画が協議されたという。ブランチ委員会の最年少委員は奈良信さん(29歳)であった。

○1954年4月、山手学舎の献堂式挙行、15名の新入舎生があった。舎監は当時主事補の小林道彦さん(第9代総主事)であった。

○1972年3月、山手ブランチ新館(敷地面積1,060㎡、建築面積565㎡、地上5階、地下2階)が完成した。設計は奈良信さん。

江戸のおもかげを残す
川越

これまでの20年
温故知人
明日に向かって新しい出会いを
ワイズメンズクラブ国際協会
第20回 東日本区大会
2017年6月3(土)・4(日)
会場：ウエスタ川越

ホストクラブ：川越ワイズメンズクラブ
協力クラブ：埼玉・所沢 各ワイズメンズクラブ
後援：川越市
川越商工会議所(社)小江戸川越観光協会
(公財)埼玉YMCA

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○1983年6月、ブランチ建物の地下室を改造してプールが完成。主任主事は飯島隆輔さん。

○山手YMCA40周年記念誌には、かつて山手Yの運営委員長や運営委員、代表理事、主任主事を務めたかたがたをはじめ、山手ワイズやサンライズワイズ、山手学舎OB、リーダーOBの方々が思い出を寄稿しておられる。それを拝見して、強く感じることは、多くの方々が山手ブランチの活動の中で、大切な出会いを体験し、それを感謝していることである。

○「YMCAとは私にとって正に人との出会いそのものであったといえる。」(学舎OB)、「山手ブランチとは、これらの人々との出会いであり、『YMCAは建物でなく、建物を生み出す力』であることを学んだ教室だった。」(元山手Y主任主事)、「楽しかった思い出や、そこで出会った人々が僕の貴重な財産になっています。」(リーダーOB)、「山手Yは私にとって、青春というよりも、その後の人生の出発点であったのかも知れません。」(学舎OB)

○山手センターが出会いの喜びを生み出す場として、ますます成長していくことを願っています。

(F. K)